

平成 30 年 3 月 30 日

平成 30 年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 生物資源学研究科
氏 名 飯島 慈裕

活動テーマ	津のお米の味と品質を裏付ける生育診断・環境評価手法の開発と実践
実施期間	平成 29 年 5 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>共同実施者である「つじ農園」の水稲圃場にて、無人航空機 (UAV) による可視・近赤外面像の空撮を用いた地形・植生指標解析、地上気象と植物分光放射の観測、GIS を用いた地理情報解析、土壌の窒素・炭素含有量の分析、土壌の透水係数等の物理性の分析を行い、水稲生育診断に有益な可視化情報とお米の品質に関わる性質との関係を明らかにする。これらの成果を津のお米の品質向上に資する活動として生産者および消費者に紹介することで、その波及効果を調べる。</p> <p>(2) 地域への貢献 (地域の発展・活性化への寄与, 広がり)</p> <p>UAV を利用した水稲生育管理について記事に取り上げられた (2018 年 10 月 5 日日本農業新聞朝刊に記事掲載など) 他、共同実施者が参画しているドローン米プロジェクト、千年村プロジェクトなどの活動の広がりにより本研究成果が利用されている。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>UAV による生育管理手法の構築で、現地観測、土壌・お米成分分析、食味検討などを分担・連携して年間を通じて活動した。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>初期解析結果は、2017 年 9 月 1 日の三重大学生物資源学研究科主催のオ</p>

オープンラボ『産学官コミュニティシンポ 2017』でポスター発表を行った。
関連する水稻の生育診断方法の開発については、平成 30 年度の 4 年生の
卒業研究テーマとすることが決まった。

(5) イベント等開催実績 (名称, 実施場所, 参加人数等)

2018 年 2 月 2 日「ドローン米 2018 キックオフイベント」に共同実施者
が参加 (東京都千代田区パティア神保町店) 参加人数 70 名

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

※継続 4 年目以降 (認定) の活動については、これまでの継続した取組みによって得られた具体的な
成果について記述願います。